

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地			
専門学校福岡ビジネス・アカデミー		昭和58年3月29日		仮屋 睦幸		〒 812-0011 (住所) 福岡市博多区博多駅前3丁目8-24 (電話) 092-474-9231			
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地			
学校法人21世紀アカデミア		昭和42年1月12日		田坂 広志		〒 101-0062 (住所) 東京都千代田区神田駿河台2丁目11番地 (電話) 092-474-9231			
分野	認定課程名	認定学科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度				
商業実務	ビジネス専門課程	ペットビジネス学科	平成21(2009)年度	-	平成26(2014)年度				
学科の目的	卓越した又は熟達した実務の知識・経験に基づく高度の専門的かつ実際の知識・技術等を教授し、職業に必要な実践的な能力を育成することを目的とする。								
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	モデル犬は全て外部より招致しており、より実践的な授業を行なっております。コミュニケーションスキルをつけるため、サービス接遇などの授業も多様に取り入れております。(昨年度中途退学率:3.3%)								
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技	
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入	1,920 単位時間	448 単位時間	4,032 単位時間	単位時間	単位時間	単位時間	
			単位	単位	単位	単位	単位	単位	
生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数(生徒実員の内数)(B)	留學生割合(B/A)	中退率					
80人	145人	1人	0%	3%					
就職等の状況	■卒業者数(C)		71人						
	■就職希望者数(D)		62人						
	■就職者数(E)		54人						
	■地元就職者数(F)		39人						
	■就職率(E/D)		87%						
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		72%						
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		76%						
	■進学者数		0人						
	■その他								
	就職活動中		(令和5年度卒業者に関する令和6年5月1日時点の情報)						
■主な就職先、業界等		(令和5年度卒業生) イオンペット株式会社、株式会社ブースバ、株式会社AHB、警察犬訓練所、動物病院など							
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体: 受審年月: 評価結果を掲載したホームページURL								
当該学科のホームページURL	https://www.ksb.ac.jp/course/pet/								
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A: 単位時間による算定)								
	総授業時数								4,480 単位時間
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数								単位時間
	うち企業等と連携した演習の授業時数								128 単位時間
	うち必修授業時数								128 単位時間
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数								単位時間
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数								128 単位時間
	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)								単位時間
	(B: 単位数による算定)								
	総単位数								単位
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数								単位	
うち企業等と連携した演習の単位数								単位	
うち必修単位数								単位	
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数								単位	
うち企業等と連携した必修の演習の単位数								単位	
(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)								単位	
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して6年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)							1人	
	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)							1人	
	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)							0人	
	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)							0人	
	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)							0人	
	計							2人	
	上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数							3人	

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

教育課程の編成については、企業等と定期的に会議等を通じて意見交換を行なう。編成改善を行なう協議内容は、授業教科目の名称や授業内容・方法の改善・工夫をはじめ、業界の動向をふまえ、働く為に必要とされる科目設定・授業内容等とし、授業方法は演習型授業(知識・技術)を主体に行なう。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

学校教育法第133条、並びに学校教育法施行規則189条、及び学校法21世紀アカデミア理事会の決議に基づき、教育課程編成委員会を置く。この委員会は、教育の質の保証及び改善をするため、専門学校福岡ビジネス・アカデミーの教育活動の状況に関する評価を行い教育活動の更なる躍進の為活動をするものである。教育課程編成委員会が出された意見を基に、専任教員で行う学務会議で其々の意見を審議し、即時対応できるものは学科長がカリキュラムやスケジュールに落とし込む。校長及び学科担当者で、学科間の調整を図り、各学期の始めに行われる講師会及び各学科の分科会で、学校・学科の方向性を示し、授業に反映させていく。問題が生じた場合は随時対応し、より良いものに変更を加えていく。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年10月1日現在

名前	所属	任期	種別
児嶋 秀夫	公益財団法人 九州盲導犬協会	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	①
坂本 恵理	株式会社ビースパサプライ マネージャー	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	②
渡邊 恵未	九州スクール・オブ・ビジネス 学校長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	—
吉満 文人	専門学校九州スクール・オブ・ビジネス ペットビジネス学科長	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	—
山本 重春	九州スクール・オブ・ビジネス 学生管理部	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日(2年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年5回(5月、11月)

(開催日時(実績))

第1回 令和5年6月16日 13:00～16:00

第2回 令和5年11月30日 13:00～15:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

引き続き、トリミング技術の向上だけでなく、接客スキルの向上も進めていく。

授業時はもちろん、姉妹校間でのトリミング技術、接客スキルを競うコンテストの開催で学生の意識向上に繋げていく。また、キャリアガイダンス(就職授業)での自己分析から企業研究、インターンシップをしっかりと実施させ、現場とのギャップをなくし、就職に結びつけていく。

プレゼンテーション能力向上を目指し、授業展開を検討していきたい。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

ペット業界のみでなく、サービス、PCスキルの知識・技術向上を目的とし、より業界の求める人材育成のために、企業の方に制作課題を設定して頂き、実践的な演習型授業を行った上で、技術や対応能力の向上を図る。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

業界が求める技術レベルや人材を育てるため、実践学習を通し、業界の方から学生への指導に必要な課題内容の検討、今後の業界の動向などの意見交換を行い、カリキュラムへ取り入れる。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	企業連携の方法	科目概要	連携企業等
企業研修Ⅰ	3. 【校外】企業内実習(4に該当するものを除く。)	学校で学んだ知識や技術を、企業の現場で体験し企業の人に実践の知識・技術を学ぶ	(株)ピースパ
企業研修Ⅱ	4. 【校外】企業等が主催するインターンシップ等(学科が主体的に企画していないものを指す。)	学校で学んだ知識や技術を、企業の現場で体験し企業の人に実践の知識・技術を学ぶ	五条ペット

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

教育の質を客観的に保証するために、経済・産業界・放送業界の動向・人材需要に即し、最新の実務の知識・経験に基づく実践的な知識・技術を教授すべく適切に教員に対する研修等を、教職員研修規定により行なう。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名： センターオープンデイ	連携企業等： 福岡県動物愛護センター
期間： 2023年5月28日(日)	対象： 教員・学生
内容： センターの動物愛護事業や登録譲受団体の活動を広く知っていただくため開催	
研修名： 動物愛護フェスティバル	連携企業等： どうぶつ愛護フェスティバルin福岡実行委員会
期間： 2023年11月12日(日)	対象： 教員・学生
内容： 人もどうぶつも幸せになるためにペットのこについて学ぶイベント	

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名： 人権・同和研修	連携企業等： 福岡県・学事課、専修学校協会
期間： 2023年11月18日	対象： 教職員
内容： 「LGBTQの基礎知識とトランスジェンダー(性同一性障害)当事者の困難について」	

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名： 九州ペットフェア	連携企業等： 九州ケンエル株式会社
期間： 2024年5月28日	対象： 教員・学生
内容： ペット用品展示会	
研修名： 動物愛護フェスティバル	連携企業等： どうぶつ愛護フェスティバルin福岡実行委員会
期間： 2024年11月3日(日)	対象： 教員・学生
内容： 人もどうぶつも幸せになるためにペットのこについて学ぶイベント	

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名： 留学生担当職員研修会	連携企業等： 福岡県・学事課、専修学校協会
期間： 2024年10月18日	対象： 教員
内容： 在留資格研修「出入国管理行政について」その他	

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

自己評価の評価結果について、卒業生、企業等の関係団体、地域住民などの専門学校と密接に関係するものと理解促進や連携教育により学校運営の改善を図る。限られた時間を有効に活用するために、重点課題などを取り上げ、集中した審議を行っていく。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	学校の理念・目的・育成人材像
(2) 学校運営	目的等に沿った運営方針の策定
(3) 教育活動	キャリア教育の視点に立った教育方法などの実施
(4) 学修成果	キャリア形成の効果を把握し学校の教育活動の改善
(5) 学生支援	卒業後の進路に関する体制の整備
(6) 教育環境	教育上または安全の十分な施設・設備の整備
(7) 学生の受入れ募集	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取り組み
(8) 財務	目的・目標に照らした有効かつ妥当な中期計画的な年度予算
(9) 法令等の遵守	法令と設置基準等の遵守と適正な運営
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献のための学校の教育資源や施設を活用
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

自己評価と関係者評価の評価差異がどこにあるのか、異なる点を吟味することで、問題点を抽出する。当然、関係者評価が厳しい場合は、本校が行なっていることが伝わっていないか、評価されていない点だと真摯に受け止め、改善・改良を加えていくことに尽きる。今年度は全体的な決算を含めた状況報告の後、次年度の学園構想について、現在の取り組みや新たな学びの場について、それぞれ学校の責任者の立場から、関係者委員の方に向けてプレゼンを行った。参加委員からは賛辞の言葉も聞かれ、改めて、本校の教育方針に、ご賛同頂けたと感じた。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
平田 章裕	福岡県洋菓子協会	令和5年9月1日～ 令和7年8月31日(2年)	業界団体
荻田 英二	(株)荻田商業建築デザイン事務所	令和5年9月1日～ 令和7年8月31日(2年)	卒業生
田中 誠二	オリエンタルホテル福岡	令和5年9月1日～ 令和7年8月31日(2年)	卒業生
福島 眞祐	福岡市博多区博多駅前3丁目2区自治会	令和5年9月1日～ 令和7年8月31日(2年)	自治会長
藤 厚久	福岡県博多女子高等学校	令和5年9月1日～ 令和7年8月31日(2年)	学校長が必要と認めた者
庄部 兼司	株式会社Too 福岡支店	令和5年9月1日～ 令和7年8月31日(2年)	学校長が必要と認めた者
小川 倫恵子	アミ・シュプール	令和5年9月1日～ 令和7年8月31日(2年)	卒業生
溝江 多佳子	株式会社イクティス	令和5年9月1日～ 令和7年8月31日(2年)	学校長が必要と認めた者
後藤 大輔	税理士法人アーク・パートナーズ	令和5年9月1日～ 令和7年8月31日(2年)	会計士
吉塚 正希	株式会社映像ボックス	令和5年9月1日～ 令和7年8月31日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://www.ksb.ac.jp/information.html>

公表時期: 2024年10月31日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

URL: <https://www.ksb.ac.jp/information.html>

公表時期: 令和5年10月31日

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の教育・人材教養の目標・教育活動計画
(2) 各学科等の教育	カリキュラム、卒業者数、卒業後の進路
(3) 教職員	各教員の担当科目、校務分掌組織等、教職員の研修・研究活動
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取組状況
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校・学科の行事(イベント)の取組とその評価結果
(6) 学生の生活支援	就職に関する体制、卒業生への支援体制
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金の取扱い
(8) 学校の財務	事業報告書
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://www.ksb.ac.jp/information.html>

公表時期: 2024年10月31日

授業科目等の概要

(ビジネス専門課程 ペットビジネス学科)															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
必修	選択必修	自由選択													
1	○		犬種学	各犬種を理解することで特徴・性格をつかみ犬の扱いをしやすくすること。	1・通	64	4	○			○			○	
2	○		愛玩動物飼養管理士2級	動物に関わる法律、歴史を学習。愛玩動物飼養管理士2級。現場で飼い主に適切な飼養管理や義務などを説明できるアドバイザーになる	1・通	64	4	○			○			○	
3	○		ペット美容概論	トリマーとしての基礎知識を学ぶ。写真を見ながらイメージを持つ。道具の名称と使い方、トリミング用語をマスターさせる。各犬種のスタンダードスタイルを覚える	1・前	32	2 12 8	○			○		○		
4	○		グルーミングベーシックA	時間を意識させ、一つ一つの作業の内容を理解する。キャバリアサイズの小型犬までは2人で1頭時間内に仕上げられるようにする。	1・前	64	4	○			○		○		
5	○		グルーミングベーシックB	グルーミング基礎を覚える。個々の体型や状態を把握できるだけの洞察力を付ける。	1・前	64	4	○			○		○		
6	○		カーミングシグナル	カーミングシグナルの種類と内容を理解する犬の観察眼。	1・前	32	2	○			○			○	
7	○		Office基礎	基本的なPCソフトの知識・技術の習得 基本的な操作方法の習得から応用・実用法の習得。 Word及びExcel	1・通	64	4	○			○		○		
8	○		サービス接遇	①躰(①挨拶②協力)②基本習得(敬語) ③傾聴 ④目標級の取得 ⑤合格を通して「人生の達成感」経験する	1通	64	4	○			○		○		
9	○		ホームルーム I	学級活動、個人面談	1通	64	4	○			○		○		
10	○		キャリアガイダンス	①業界EXPO(就職活動)に向けた準備。 ②業界EXPOに向けた明確な目標の設定。 ③自己分析・企業のリストアップ。 ④目標の明確化から就職活動への結びつけ ⑤具体的な就職活動のイメージの明確化	1・通	64	4	○			○		○		
11		○	企業研修 I	学校で学んだ知識や技術を、企業の現場で体験し企業の人に実践の知識・技術を学ぶ。	1後	64	4	○			○		○		○
12		○	企業研修 II	学校で学んだ知識や技術を、企業の現場で体験し企業の人に実践の知識・技術を学ぶ。	1後	64	4	○			○		○		○
13	○		猫学	猫を理解する。	2・通	64	4	○			○		○		

31	○	トリミングベーシックA	小型犬の丸刈り。ベーシック検定を合格していない学生はグルーミング2ミリの丸刈りができるようになる。顔の形を理解させる。	1・後	128	8	○	○	○										
32	○	トリミングベーシックB	グルーミング検定合格関係なく体のカット、顔カットの大まかな流れを理解する。教師の見本を見ながら大まかに形を作る。カットの面を揃えられるようになる。	1・後	128	8	○	○	○										
33	○	トリミングスタンダードC	カットの面を揃えられるようになる。怪我をさせないバリカンの当て方。	2・前	64	4	○	○	○										
34	○	トリミングC	各就職先にあったトリミング技術の向上。個々の必要なレベルに合わせてスキルアップ	2・後	64	4	○	○	○										
35	○	トリミングスタンダードD	カットの面を揃えられるようになる。怪我をさせないバリカンの当て方。	2・前	64	4	○	○	○										
36	○	トリミングD	各就職先にあったトリミング技術の向上。個々の必要なレベルに合わせてスキルアップ	2・後	64	4	○	○	○										
37	○	企業研修V	学校で学んだ知識や技術を、企業の現場で体験し企業の人に実践の知識・技術を学ぶ。	2・通	256	16	○			○									
38	○	企業研修VI	学校で学んだ知識や技術を、企業の現場で体験し企業の人に実践の知識・技術を学ぶ。	2・通	480	30	○			○	○								
39	○	ホームルームⅡ	学級活動、個人面談	2・通	64	4	○			○									
40	○	スキルアップⅠ	様々なスキルを磨く 基礎技術に於ける不明瞭な点を理解するためにペットの全体を確認する。	1・前	32	2	○			○									
41	○	スキルアップⅡ	様々なスキルを磨く 基礎から応用に展開する上で、必要となるペットの様々な技術を理論的に理解していく。	2・前	32	2	○			○									
42	○	キャリアアップ	様々なスキルを磨く。1年次の履修状況を確認し補う。就職活動をするための面接など、技術の見せ方など参考資料を元に、プレゼンテーション能力を高めていく。	1・後	32	2	○			○									
43	○	特別補講	様々なスキルを磨く	2・後	32	2	○			○									
44	○	ワーキング・スタディ	学校で学んだ知識や技術を、企業の現場で体験し企業の人に実践の知識・技術を学ぶ。	1・通 2・通	384	24	○			○									
45		短期留学	時数による																
合計					45	科目	268 単位 (単位時間)												

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：卒業規程単位の取得等、卒業合格条件を満たすこと。		1学年の学期区分	2期
履修方法：各学期毎に行う試験、演習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。		1学期の授業期間	16週